

北海道朝鮮学校を支える会

児童・生徒の健康安全の面から見た朝鮮学校と日本学校との処遇の違い

項目	朝鮮学校	日本の学校
AED（電気ショックによる心臓蘇生装置）	初級部、中級部、高級部とも一切貸与されず。	1台30万円ほど値段だが、大量に札幌市が購入したため、購入価格は相当安いと思われるが、購入価格は業者との関係があるということで秘匿。 2005年度市立中学校、高等学校全校に貸与。（監査上、支給という形はとれないので長期間の貸与であり、支給と同じ） 2006年度、業事法の改正により市立小学校の全校に貸与。
防犯用携帯ブザー	初級部1年、2年に貸与されず。	2005年度市内の小学1年生と2年生全員に携帯ブザーの貸与（上記の理由で貸与。物品の監査の対象になっておらず、支給と同じ）
児童・生徒の健康診断	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断項目 内科検診（全学年）、歯科検診（全学年） 心電図（中1、高1）、尿検（全学年）、 視力・聴力検査（全学年） 費用は児童・生徒が3500円負担。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康診断項目 内科検診（全学年）、口腔検査（全学年）、 心臓検診（小1、中1、高1） 眼科検診（小1、小4、中1、高1） 尿検（全学年）、耳鼻科検診（小1、小4、中1、高1）、 尿検と心臓検査は委託、その他視力と聴音検査は担任と養護教諭で行っている） 児童・生徒の負担はなし。 費用は学校医に年間30万円が札幌市から報酬として支払われる。 そのほかに内科検診、口腔検査などでは児童生徒1人299円×検査した人数分が札幌市が負担して支払われる。
傷害保険	<ul style="list-style-type: none"> 学校との契約で団体障害保険に加入。 年額1人当たり3000円（3人兄弟の場合は9000円） 給付は入院4000円、通院2000円。 着脱式ギブス、コルセットは全額自己負担。 スポーツ活動をしている生徒は、個別に他の保険に加入。 	独立行政法人日本スポーツ健康センター（略称スポーツ健康センター）にはいり（任意加盟であるが、PTA総会などで決め、96%の納付で学校単位で加盟になる）自己負担の総額+治療費の1割が支給される。掛け金は年間920円だが半額の460円は札幌市が負担。父母の負担は460円。就学援助の家庭は免除される。そのほかにPTA安全互助会の制度もある。
給食関係	<ul style="list-style-type: none"> 昼食のみの金額で、寮生の朝・夕食は別途徴収。 初級部月額8000円、中級部月額9000円、高級部月額10000円 食材費、人件費などの全ての経費に対する補助はなく、全て学校で、自前で運営しているが、大赤字である。 	小学校月額3350円、中学校3950円（生活保護家庭、就学援助受給家庭は免除）。全額食材購入に費やされ札幌市の補助はないが、調理員の人件費、施設設備の補修点検費、燃料費電気代、調理機材の購入費、保健所の検便費用、シャワー室の設置などすべて札幌市が負担している。現在、給食センター方式は札幌市は進まず、自分の学校で作る自校方式か、自校と近隣の学校と行う親子方式の学校が多い。
教職員の健康診断	学校及び教員が全額負担。 （半額ずつ負担）	年齢によって費用が違ってくるが（検査項目の違いによる）40歳～50歳の費用は12550円全額札幌市が負担する。なお、札幌市教委の担当者は、札幌の教職員の受診は義務付けといっている。受診は義務免で受けられる。
除雪と排雪	2005年1月と2006年1月に朝鮮学校の要求で除雪が行われたが、拡幅作業だけで排雪にはいたっていない。	3学期始業式前に学校周辺と一部通学路の排雪が、各区の土木センターの「除雪の実施計画書」に明記されており、実際3学期始業式前には排雪が行われる。